

I

高齡者基礎調查

I－1. 調査概要

1 調査の目的

平成30年度を計画の始期とする第7期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料を得ることを目的とし、以下の各調査を実施した。

調査種別	調査の目的
①高齢者一般調査	生活状況、介護予防、社会参加等に関する実態や意向を把握するための基礎資料を得る。
②要支援・要介護認定者調査	介護サービスの利用状況・利用意向等の把握により、今後の介護サービス量を推計するための基礎資料を得る。
③これから高齢期を迎える方の調査	高齢者の保健福祉施策の10年後を見据え、生活状況、介護予防、社会参加等に関する実態や意向を把握するための基礎資料を得る。
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	特別養護老人ホーム入所待機者の生活状況、今後の入所意向等の把握により、今後の施設整備、居宅サービス量を推計するための基礎資料を得る。
⑤介護サービス事業所調査	介護サービス事業の現状、介護人材の育成・確保の状況、介護保険制度の見直し等に関する要望等を把握するための基礎資料を得る。
⑥施設入所者調査	施設入所者の生活状況、今後の生活場所の意向等の把握により、今後の施設整備、居宅サービス量を推計するための基礎資料を得る。

2 調査方法

調査種別	調査方法
①高齢者一般調査	郵送法（郵送配付・郵送回収）
②要支援・要介護認定者調査	
③これから高齢期を迎える方の調査	
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	【ご自宅にお住まいの練馬区特別養護老人ホーム入所基準の指数が 13 ポイント以上の方】 高齢者相談センター職員の訪問配付・郵送回収 【その他の方】 郵送法（郵送配付・郵送回収）
⑤介護サービス事業所調査	郵送法（郵送配付・郵送回収）
⑥施設入所者調査	施設宛てに郵送法（郵送配付・郵送回収）

3 調査対象

○調査基準日を平成 28 年 12 月 1 日として、抽出等を行った。

○各調査の調査対象者は、④特別養護老人ホーム入所待機者調査、⑤介護サービス事業所調査、⑥施設入所者調査を除き住民基本台帳から無作為抽出した。

○無作為抽出は、調査間での対象者の重複を避け、所定の人数を抽出した。

調査種別	調査対象
①高齢者一般調査	介護保険の認定を受けていない 65 歳以上の区民から無作為に 2,300 人を抽出した（総合事業対象者を含まない）。
②要支援・要介護認定者調査	介護保険の認定を受けている 65 歳以上の区民から無作為に 5,000 人を抽出した（総合事業対象者を含む）。
③これから高齢期を迎える方の調査	介護保険の認定を受けていない 55～64 歳の区民から無作為に 800 人を抽出した。
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	特別養護老人ホーム入所待機者の方全員 1,339 人を対象とした。
⑤介護サービス事業所調査	介護サービスを提供している区内の全事業所 980 事業所を対象とした。
⑥施設入所者調査	有料老人ホーム（特定施設のみ）、サービス付き高齢者向け住宅、認知症高齢者グループホームに入所している 65 歳以上の区民を対象とした。

4 調査期間

調査種別	調査期間
①高齢者一般調査	平成 28 年 12 月 9 日～平成 28 年 12 月 26 日
②要支援・要介護認定者調査	
③これから高齢期を迎える方の調査	
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	【訪問調査】平成 28 年 12 月 12 日～平成 29 年 1 月 13 日 【郵送調査】平成 28 年 12 月 9 日～平成 29 年 1 月 13 日
⑤介護サービス事業所調査	平成 28 年 12 月 9 日～平成 28 年 12 月 26 日
⑥施設入所者調査	平成 28 年 12 月 9 日～平成 29 年 1 月 13 日

5 回収状況

調査種別	発送数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
①高齢者一般調査	2,300	1,495	65.0%	1,494	65.0%
②要支援・要介護認定者調査	5,000	2,833	56.7%	2,824	56.5%
③これから高齢期を迎える方の調査	800	383	47.9%	383	47.9%
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	1,339	568	42.4%	479	35.8%
13ポイント以上	168	55	32.7%	47	28.0%
12ポイント以下	1,171	513	43.8%	432	36.9%
⑤介護サービス事業所調査	980	599	61.1%	599	61.1%
⑥施設入所者調査	—	622	—	622	—

※ ⑥施設入所者調査は、調査対象の区内 94 施設へ調査票を送付し、入所している練馬区民への配付および回収について、施設へ協力を依頼して調査した

6 報告書を利用するにあたって

- 図・表中のnとは、基数となる実数のことである。
- 回答はnを100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 図・表中の「—」は回答者が皆無のものである。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- 複数の回答選択肢を1つにまとめて分析する場合（例えば、「とてもよい」と「まあよい」を合算し、「よい」として分析する場合）、回答選択肢ごとの比率を合計した数値と、1つにまとめた比率の数値が異なる場合がある。これは四捨五入する際に生じた差異である。
- 質問において、性別、年齢別、要介護度別など調査対象者の基本属性を中心としたクロス集計結果の図・表については、基本属性等に「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。
- 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。
- 図・表中では、各対象の調査名を下記のように記載する。

調査種別	記載名
①高齢者一般調査	高齢者一般
②要支援・要介護認定者調査	要介護認定者
③これから高齢期を迎える方の調査	これから高齢期
④特別養護老人ホーム入所待機者調査	【特養入所待機者】 全体
練馬区特別養護老人ホーム入所基準の指数 13 ポイント以上	13 ポイント以上
練馬区特別養護老人ホーム入所基準の指数 12 ポイント以下	12 ポイント以下
⑤介護サービス事業所調査	介護サービス事業所
⑥施設入所者調査	施設入所者

○クロス集計の図・表中では、居住地区の住所表記を下記のように記載する。

選択肢	記載名
旭丘1～2丁目、小竹町1～2丁目、栄町、羽沢1～3丁目、豊玉上1～2丁目、豊玉中1～4丁目、豊玉南1～3丁目、豊玉北1～6丁目、中村1～3丁目、中村南1～3丁目、中村北1～4丁目、桜台1～6丁目、練馬1～4丁目、向山1～4丁目、貫井1～5丁目	練馬
錦1～2丁目、氷川台1～4丁目、平和台1～4丁目、早宮1～4丁目、春日町1～6丁目、高松1～6丁目、北町1～8丁目、田柄1～5丁目、光が丘1～7丁目、旭町1～3丁目、土支田1～4丁目	光が丘
富士見台1～4丁目、南田中1～5丁目、高野台1～5丁目、谷原1～6丁目、三原台1～3丁目、石神井町1～8丁目、石神井台1～8丁目、下石神井1～6丁目、関町北1～5丁目、関町南1～4丁目、上石神井町南町、立野町、上石神井1～4丁目、関町東1～2丁目	石神井
東大泉1～7丁目、西大泉1～6丁目、南大泉1～6丁目、大泉町1～6丁目、大泉学園町1～9丁目、西大泉町	大泉

○クロス集計の図・表中では、サービス種別の選択肢表記を下記のように記載する。

選択肢	記載名
居宅介護支援、居宅療養管理指導	居宅介護支援
訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション	訪問系
通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護※	通所系
介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、短期入所生活介護、短期入所療養介護	入所系
定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、認知症高齢者グループホーム	地域密着型サービス
福祉用具貸与・販売	福祉用具貸与・販売
特定施設入居者生活介護	特定施設入居者生活介護

※ サービス分類としては地域密着型サービスだが、通所系として集計した